



# 水産情報速報版

H17.10.14 1164  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行 = 指導部 漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

## 1. 県内水面漁連 50周年記念式典を開催

県内水面漁業協同組合連合会(佐塚重義会長)では、10月7日静岡中島屋グランドホテルにおいて、内水面の漁業関係者等約80名が出席して、50周年記念式典を開催しました。

式典では、佐塚会長より主催者の挨拶が述べられ、引き続き来賓の桜井新全国水面漁連会長、竹山裕参院議員、北村正平県農林水産部長らが夫々祝辞を述べました。

県内水面漁連は、内水面の漁業や養殖での内水面漁業の振興を図るため、昭和26年10月に県内水面漁業振興会を設立し、その後、31年6月に同組織を改組して水協法に基づき県内水面漁連として設立されました。現在、同漁連には、29河川漁協、7養殖漁協の計36漁協が会員として所属し、54年に裾野市に建設した「あゆ種苗センター」をもとにアユの種苗生産・供給や、会員漁協の指導などを行っています。

また、同漁連を中心にして会員漁協は種苗放流や漁場環境整備などに取り組み、アユを始めとする内水面の資源の育成・増殖・漁業の振興などに努めています。

## 2. 海洋深層水で深海性甲殻類の生残が大幅に向上

県水産試験場では、駿河湾深層水水産利用施設で清浄性、低温性の特性を持つ海洋深層水を使い、タカアシガニなどの深海性有用甲殻類の飼育実験を行っていますが、表層海水より飼育日数が3~5倍に伸びるなどのこれまでの研究結果を発表しました。

それによると、深層水利用施設がオープンした昨年4月より5種類の駿河湾の甲殻類の飼育実験を行った結果、タカアシガニは通常の表層水海水では飼育開始後平均80日で死亡していたのが、深層水では平均320日と1年近く生息し、オオエンコウガニは平均70日が370日、イバラガニモドキは平均20日が100日、アカザエビは平均130日が390日でいずれも一部が現在も生息中で、サクラエビも通常表層水では過去最高30日が平均58日、深層水では最高185日と飛躍的に生存率が向上することを確認しました。

県水試は、深層水による甲殻類の長期飼育が可能になることが科学的に裏付けられたことにより、今後、放流種苗の効率的な生産や活魚、水族館展示利用などが期待できるとしています。

## 3. 「用宗漁港まつり」売上金・募金を漁船海難遺児育英会へ寄付

用宗漁港まつり実行委員会(山本劭会長(静岡漁協長))では、去る5月29日開催された「用宗漁港まつり」での売上金の一部や来場者からの募金等を、10月7日に会長らが本会を訪れ、漁船海難遺児育英会の育英資金にと本会に寄託しました。これを受けて本会では、この浄財を漁船海難遺児育英会に送金し育英事業の充実に役立てていただくことにしています。

なお、「用宗漁港まつり」は、今年4月1日に静岡市が政令指定都市へ移行したことなどに伴い、「用宗漁港しらす祭り」が名称変更され開催されました。

また、漁船海難遺児育英会の募金運動は現下の厳しい漁業情勢を考慮し、当面は第9

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

期の募金目標の設定を行わず、第8期の目標金額の完全達成に向けて募金運動を展開していますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

## 4. 平成17年度船舶職員養成講習会受講生募集のお知らせ

本会では、漁業従事者能力向上事業(県委託事業)の一環として、県鯉鮪漁協、焼津漁協の協力を得て例年開催している、船舶職員養成講習会の受講生を募集しておりますのでお知らせします。講習の開催期間等は次のとおりです。

3級海技士(航海・内燃機関):平成17年11月14日(月)~平成18年3月3日(金) 4・5級海技士(航海・内燃機関):平成18年1月5日(木)~平成18年3月3日(金) 会場:県立漁業高等学園(焼津市小川汐入3747-2)

なお、海技士国家試験(臨時)は、平成18年3月7日(火)から焼津漁協にて実施されます。

問合せ先:本会漁政課(TEL:054-254-6011)、県鯉鮪漁協(TEL:054-628-7258)、焼津漁協(TEL:054-628-7115)

## 5. 静岡県水産試験場の研究テーマ募集のお知らせ

県水産試験場では、水産業界の振興と安全・安心な水産物を県民の皆様に供給することを目的とした試験研究課題の設定に努めて、研究テーマに関する要望調査を定期的に行っています。

今回、当試験場のホームページを通じ、一般の方々から広く、これからの水産を考えた時、水産試験場が取り組んでおかなければならない研究テーマの募集を始めました。

HPアドレス:<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp> 応募締切:11月25日(金) 応募方法:HPより水産関係試験研究機関への要望記載カードを印刷し、必要事項を記入の上、FAX又は郵送する 送付・問合せ先:県水産試験場利用普及部 〒425-0033 焼津市小川汐入3690 FAX:054-629-7350又は054-627-3084 TEL:054-627-1818

## 6. 新刊図書紹介 「カキじいさんとしげぼう」 畠山重篤著

「森は海の恋人」を合言葉に漁業者による植林活動を続ける畠山重篤氏がこのほど(株)講談社より「カキじいさんとしげぼう」の童話を出版しました。

本書は、カキじいさんと主人公しげぼうのふれあいを通して、森・川・海といった自然のつながりや、漁業との関わり方を子供にも理解しやすいような言葉で書いたもので、自然界の環境機能を理解する手助けとなる一冊です。

変形B6判・71頁 価格:1,050円(税込) 問合せ先:(株)講談社 TEL:03-5395-3535

## 7. 諸会議・日程(10月18日(火)~10月31日(月))

- 既報分省略 -

10月20(木)・21日(金) 県桜えび漁業組合 = 桜えび生産技術研修会

(20日/大井川町漁協・21日/由比港漁協)

10月24日(月) 県桜えび漁業組合 = 出漁対策委員会 (県水産会館)

10月26日(水) 県JF共済推進本部 = 推進専門委員会 ( " )

" 県漁連 = 水産王国しずおか首都圏トップセールス事業実行委員会

第2回幹事会 ( " )

10月27日(木) 県信漁連 = 第8回理事会・臨時総会 ( " )

10月28日(金) 県漁業信用基金協会 = 監事会 ( " )

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう